

公益財団法人 住友電工グループ社会貢献基金
事業報告書

(自2017年4月1日至2018年3月31日)

1. 事業の概要

(1) 2017年度の事業概況

第9期の2017年度は、住友電気工業株式会社から寄付金156,597千円余(カフェテリアプランを通じた寄付金597千円余を含む)の寄付を受け、事業として大学講座寄付8件、実施金額93,000千円と、奨学金支給163名、実施金額40,521千円余、学術・研究助成28件、実施金額30,629千円余の、総額164,151千円余の助成事業を実施しました。

		実施金額
(イ) 大学講座寄付	8件	93,000千円
(ロ) 奨学金支給	163名	40,521千円余
(ハ) 学術・研究助成	28件	30,629千円余
合 計		164,151千円余

(2) 2017年度収支決算

事業活動収支は、収入面では、寄付金収入として住友電気工業株式会社から156,597千円余(カフェテリアプランを通じた寄付金597千円余を含む)の寄付を受け、これに基本財産運用収入18,793千円余を加え、収入合計は予算対比597千円余増の175,391千円余となりました。

一方、支出面では、事業費支出はほぼ当初計画通りに実施しましたが、2015年度の学術・研究助成先から助成金返還の申し出1件、海外奨学金の為替変動による支出減などから、予算対比1,108千円余減の164,751千円余となりました。

管理費支出は、旅費交通費が当初計画に比べ減少したことなどから、管理費合計では予算対比845千円余減の15,994千円余となり、事業活動支出合計は予算対比1,954千円余減の180,745千円余となりました。

投資活動収支については、今年度も国債を購入しておりませんので投資有価証券取得支出はございませんでした。

以上の結果、当期収支差額は5,354千円余の赤字となり、前期繰越収支差額16,432千円余から差し引いた11,078千円余を次期に繰り越しました。

指定正味財産増減計算は、今期、基本財産の増減はなく、期末の指定正味財産は2,000,000千円の変動ございません。

(3) 2017年度事業

2017年3月6日開催の第38回理事会で決議・承認された事業計画に基づいて、次の大学講座寄付、奨学金支給、学術・研究助成を実施しました。

(イ) 大学講座寄付

エネルギー・新素材・情報技術 (AI、IoT、ビッグデータ活用)・バイオテクノロジー・医療をはじめとする最新テクノロジー探求、地球温暖化・環境保全等現代の諸問題解決にむけた研究、ものづくりや起業家 (アントレプレナー) をはじめとした次世代を担う人材の育成に取り組む、産業社会の発展に資する優れた大学講座に対し寄付を行うもので、継続案件6件に加え、新規の大学講座2件を選考し、合計8件、総額93,000千円の寄付を行いました。

大学名	講座名	金額 (千円)
京都大学 工学研究科光・電子理工学 教育研究センター	工学の高度人材に対し、科学技術 アントレプレナー育成のための実践的教育	10,000
電気通信大学	IT融合とビッグデータ利活用イノベーション 人材(データアントレプレナー)育成講座	8,000
東京大学 産学連携本部	実践的若手アントレプレナーの育成、教育	2,000
広島大学 大学院医歯薬保健学研究院	小胞体マイクロフラグメント解析による疾患病態の 理解と臨床応用	20,000
北海道大学 大学院医学研究科	糖鎖生物学的アプローチによる各種疾患の病態 解明とその臨床応用	18,000
山形大学	アジアの水・食・健康リスク講座	15,000
神戸大学 (※) バイオシグナル総合研究センター	肝転移の早期診断が可能な新規がんバイオマ ーカー開発講座	15,000
筑波大学 (※) 生命環境系	ダークマター微生物資源利用・生物化学工学講座	5,000
合 計		93,000

(※) 新規案件

(ロ) 奨学金支給

日本で就学する外国人留学生、国内学生及び海外の大学に在学する現地学生のうち、学業並びに他の分野でも模範となるよう研鑽に努め、専門分野のみならず幅広い知識と見識を求め、大学・大学院においては科学技術分野を専攻する学生を対象として、2017年度は、選考の結果、下記の奨学生に対し、奨学金を支給しました。

日本の外国人留学生	奨学生		実施額 (千円)	実施時期	
	継続 (※1)	9名	10,200	2017年4月～ 2018年3月	
	東京大学1、京都大学1、大阪大学1、 東北大学1、名古屋大学1、一橋大学1、 東京工業大学1、慶應義塾大学1、 早稲田大学1				
	新規	9名	10,800	2017年4月～ 2018年3月	
		計	21,000		
日本の国内学生	継続	16名	5,760	2017年4月～ 2018年3月	
	北海道大学1、東京大学1、東京工業大学1、 静岡大学1、早稲田大学1、慶應義塾大学1、 東京理科大学1、京都大学1、大阪大学1、 神戸大学1、岡山大学1、広島大学1、 九州大学1、関西大学1、同志社大学1、 立命館大学1				
	新規	19名	6,840	2017年4月～ 2018年3月	
		計	12,600		
海外の大学 現地学生	中国	蘇州大学	20名	約1,049	2018年3月
		中山大学	10名	約516	2017年12月
		武漢理工大学	10名	約505	2018年3月
		上海外国語大学	10名	約529	2017年11月
	タイ	泰日工業大学	20名	約1,108	2017年8月
		キングモンクット 工科大学	20名	約1,232	2017年11月
	ベトナム	ハノイ工科大学	20名	約956	2018年3月
		ハノイ工科大学(※2) (2016年度)	(20名)	約1,026	2017年5月
		計	110名	約6,921	
合計		163名	約40,521		

(※1) 継続奨学生9名のうち1名は2017年9月をもって奨学金支給を終了

(※2) 2016年度分支給遅れにより2017年度に実施

(ハ) 学術・研究助成

自然科学や社会科学の先進的、独創的な研究、資源・エネルギーの確保、地球環境保護、世界人口の増加と水食料不足、長寿高齢化社会の到来、経済格差の拡大等、現代の重要課題の解決に向けたテーマを対象としています。

特に新素材開発、情報技術（AI、IoT、ビッグデータ活用）、ライフサイエンスをはじめとした産業のイノベーションが期待できる研究や、持続可能社会、循環型社会、省資源社会、超高度情報化社会の実現、長寿高齢化・介護社会の到来、経済のグローバル化などの社会ニーズに対応する研究に対し助成するもので、2017年度は、応募総数166件の中から選考の結果、28件、総額30,629千円余の助成を行いました。

(所属 50 音順、敬称略、単位：千円)

氏名	所属	職位	テーマ	助成金額
松本英之	大阪市立大学	助教	時間・空間選択的な神経活動の同定と操作による報酬系神経回路の機能解明	1,250
藤田幸	大阪大学	助教	中枢神経回路修復のメカニズム解明と治療戦略の開発	1,400
高橋遼	学習院大学	准教授	開発途上国におけるグリーン・エコノミーへの転換戦略：混合所有制度を用いた社会実験	1,150
植村一広	岐阜大学	准教授	異種金属一次元鎖錯体の電解酸化と導電物性評価	750
岩見真吾	九州大学	准教授	老化関連疾患のメカニズムを解明する造血幹細胞エイジングの数理生物学研究	1,150
藤原幸一	京都大学	助教	非専門医のてんかん診療の質改善のためのてんかん診療支援クラウドAIの開発	1,300
伊藤彰浩	京都大学	准教授	レドックス活性基導入によりエッジ状態を安定化したナノグラフエンの創製	750
天野将之	熊本大学	特任助教	HIV-1 の Tat 蛋白を標的とした HIV-1 関連神経認知障害の予防/治療薬の開発	1,000
菊池将一	神戸大学	助教	窒素ガスブローを援用した迅速窒化プロセスによる高性能パイオマテリアルの創製	1,300
中川敬三	神戸大学	准教授	高透水性と構造安定性を両立する革新的無機ナノシートろ過膜の開発	1,250
伊藤祥太郎	産業技術総合研究所	研究員	機能性高分子を利用した光による易解体性と高強度を併せ持つ新規接着剤の開発	1,400
山口勲	島根大学	教授	がん診断を指向したテロメア鎖長計測用ソフトマテリアルの創製	1,150
道信剛志	東京工業大学	准教授	キラルな正孔輸送材料の開発と光電変換素子への応用	850
出浦桃子	東京大学	助教	高品質窒化物半導体成長に向けたシリコン基板への炭化ケイ素薄膜の新規形成手法	1,100
佐藤典裕	東京薬科大学	講師	藻類の二元的活用～エネルギー生産と環境浄化に向けて～	1,100
酒井雄也	東京大学	講師	超微破壊でのコンクリート品質分析による社会インフラの維持管理の合理化	1,000
高松智寿	東北大学	助教	結晶学をベースとしたカルシウムイオン二次電池の負極材料の創出	1,050
松原正和	東北大学	准教授	メタマテリアルを用いた光-電流-スピン流制御機構の開拓	1,400
庄司衛太	東北大学	助教	ナノフルイドのマイクロ動的濡れ計測を目的とした位相シフト光学システム開発	1,050
吉野優樹	東北大学	助教	PLK1制御を介した中心体型BRCA1複合体のがん抑制機構の解明	1,000
井澤俊	徳島大学	助教	破骨細胞における代謝エピジェネティック制御遺伝子の分子機能解明と骨粗鬆症治療戦略	1,100
岩崎崇	鳥取大学	准教授	ポリヒステジンの上皮細胞層透過機構の解明と応用研究	1,400
須田善行	豊橋技術科学大学	准教授	ナノメートルサイズのらせん状炭素物質に対するコイル直径およびカイラリティの選別	1,100
柳田健之	奈良先端科学技術大学院大学	教授	新規半導体シンチレータの開発	1,000
今榮一郎	広島大学	准教授	フレキシブル有機熱電変換材料の開発を目指した新規導電性高分子の開発	1,050
高田健介	北海道大学	准教授	核内受容体間の競合を介した免疫記憶形成機構の解明とワクチン療法への応用	900
荒木努	立命館大学	教授	ナノコラムを利用した窒化インジウムデバイス基盤技術開発	1,400
高木一好	立命館大学	教授	二酸化炭素固定化触媒としてのギ酸デヒドロゲナーゼの高発現系構築と高機能化	1,050
依田成玄	Dana-Farber Cancer Institute	リサーチサイエンティスト	希少がんからのがん遺伝子探索 (※)	△ 771
計				30,629

(※) 2015 年度学術・研究助成金返還分

2. 役員・評議員（2018年3月31日現在）

(50音順)

役名	氏名	主たる職業
理事長	井上 治	住友電気工業株式会社 社長
常務理事	賀須井 良有	住友電気工業株式会社 常務取締役
理事	川井 文義	住友電装株式会社 代表取締役 執行役員社長
	西村 義明	住友理工株式会社 代表取締役 取締役会長
	松澤 佑次	一般財団法人住友病院 院長
	吉川 弘之	国立研究開発法人科学技術振興機構 特別顧問
監事	高坂 敬三	色川法律事務所 弁護士
	谷 信	住友電気工業株式会社 専務取締役
評議員	小畑 英明	日新電機株式会社 代表取締役 会長
	新宮 壽人	株式会社テクノアソシエ 代表取締役 社長
	菅沼 敬行	住友電設株式会社 特別顧問
	竹中 裕之	住友電気工業株式会社 常任顧問
	田中 茂	住友電気工業株式会社 顧問
	西本 清一	公益財団法人京都高度技術研究所 理事長 地方独立行政法人京都市産業技術研究所 理事長
	松本 正義	住友電気工業株式会社 取締役会長
	三野 哲治	住友ゴム工業株式会社 相談役
	村田 治	関西学院大学 学長

3. 主要な事業経過

2017年	6月5日	第40回理事会開催（書面決議） <ul style="list-style-type: none">・第8期定時評議員会招集の件・第8期定時評議員会付議事項の件
	6月15日	第41回理事会開催 <ul style="list-style-type: none">・2016年度（第8期）事業報告及び計算書類等承認の件 第8期定時評議員会開催 <ul style="list-style-type: none">・理事3名選任の件・評議員6名選任の件・監事1名選任の件 第42回理事会開催 <ul style="list-style-type: none">・役付役員選任の件・2017年事業（奨学金支給）実施の件・2017年度選考委員選任の件
	6月30日	第8期臨時評議員会開催（書面決議） <ul style="list-style-type: none">・2016年度（第8期）事業報告及び計算書類等承認の件
	7月13日	第1回選考委員会開催 <ul style="list-style-type: none">・申請書類閲覧及び選考方法確認の件
	9月12日	第2回選考委員会開催 <ul style="list-style-type: none">・2017年度大学講座寄付先選考の件・2017年度学術・研究助成先選考の件
	10月18日	第43回理事会開催 <ul style="list-style-type: none">・2017年度 大学講座寄付の対象者並びに寄付金額決定の件・2017年度 学術・研究助成の対象者並びに助成金額決定の件
2018年	3月19日	第44回理事会 <ul style="list-style-type: none">・2018年度事業計画及び同収支予算承認の件・2018年度事業（奨学金支給）実施の件
	5月28日	第45回理事会開催（書面決議） <ul style="list-style-type: none">・第9期定時評議員会招集の件・第9期定時評議員会付議事項の件